



2023年5月

# 使用上の注意改訂のお知らせ

経口抗真菌剤  
イトラコナゾール錠

## イトラコナゾール錠50mg「科研」

ITRACONAZOLE Tablets「KAKEN」

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたので、お知らせいたします。今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### ■改訂内容（\_\_\_\_\_：改訂・追記部分）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(省略、変更なし)		本剤の CYP3A4 に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。	(省略)		本剤の CYP3A4 に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。
抗悪性腫瘍剤 ドセタキセル 水和物 エベロリムス テムシロリムス ゲフィチニブ ダサチニブ エルロチニブ ラパチニブ ボルテゾミブ イマチニブ スニチニブ ボスチニブ カバジタキセル セリチニブ クリゾチニブ シロリムス(錠) パノビノスタット ポナチニブ ルキシロチニブ アパルタミド トレチノイン (カプセル) ペミガチニブ エヌトレクチニブ	これらの薬剤の血中濃度を上昇させることがある。必要に応じてこれらの薬剤の投与量を減量するなど用量に注意すること。 ・クリゾチニブ反復投与時に本剤を併用投与したとき、クリゾチニブの定常状態における AUC <sub>tau</sub> 及び C <sub>max</sub> は単独投与と比べそれぞれ 57% 及び 33% 増加した。		抗悪性腫瘍剤 ドセタキセル 水和物 エベロリムス テムシロリムス ゲフィチニブ ダサチニブ エルロチニブ ラパチニブ ボルテゾミブ イマチニブ スニチニブ ボスチニブ カバジタキセル セリチニブ クリゾチニブ シロリムス(錠) パノビノスタット ポナチニブ ルキシロチニブ アパルタミド トレチノイン (カプセル)	これらの薬剤の血中濃度を上昇させることがある。必要に応じてこれらの薬剤の投与量を減量するなど用量に注意すること。 ・クリゾチニブ反復投与時に本剤を併用投与したとき、クリゾチニブの定常状態における AUC <sub>tau</sub> 及び C <sub>max</sub> は単独投与と比べそれぞれ 57% 及び 33% 増加した。	
(省略、変更なし)			(省略)		

裏面に続く

改訂後			改訂前		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(省略、変更なし)			(省略)		
イリノテカン	イリノテカンの活性代謝物の血中濃度が上昇することがある。必要に応じてイリノテカンの投与量を減量するなど用量に注意すること。	本剤の CYP3A4 阻害作用により、イリノテカンの活性代謝物の無毒化が阻害されると考えられる。	イリノテカン	イリノテカンの活性代謝物の血中濃度が上昇することがある。必要に応じてイリノテカンの投与量を減量するなど用量に注意すること。	本剤の CYP3A4 阻害作用により、イリノテカンの活性代謝物の無毒化が阻害されると考えられる。
バルベナジン	バルベナジン及び活性代謝物の血漿中濃度が上昇するおそれがある。バルベナジンの作用が増強することで副作用があらわれるおそれがあるため、観察を十分に行うこと。本剤を併用する場合にはバルベナジンの増量はしないこと。	本剤の CYP3A 阻害作用により、バルベナジン及び活性代謝物の代謝が阻害されると考えられる。	← 追記		
ニロチニブ	ニロチニブの血中濃度が上昇し、QT延長があらわれることがある。必要に応じてニロチニブの投与量を減量するなど用量に注意すること。	本剤の CYP3A4 及びP糖蛋白阻害作用により、ニロチニブの代謝及び排泄が阻害されると考えられる。	ニロチニブ	ニロチニブの血中濃度が上昇し、QT延長があらわれることがある。必要に応じてニロチニブの投与量を減量するなど用量に注意すること。	本剤の CYP3A4 及びP糖蛋白阻害作用により、ニロチニブの代謝及び排泄が阻害されると考えられる。
(省略、変更なし)			(省略)		

## ■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「併用注意」の項を改訂しました。

- 今回の改訂内容は、「医薬品安全対策情報 (DSU) No.317」(2023年5月)に掲載されます。
- 最新の電子化された添付文書は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)及び弊社ホームページ(<https://www.kaken.co.jp/medical/index.html>)でご覧いただくことができます。また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ<sup>てんぶん</sup>®」を利用し、GS1バーコードを読み取ることでご覧いただくこともできます。

イトラコナゾール錠「科研」のGS1バーコード



(01)14987042372025